

震災とコミュニティを考える

第2回 淑徳大学コミュニティ政策学部主催フォーラム

<日 時>

平成24年2月6日(月) 13:30~15:30

<場 所>

京成ホテルミラマーレ ※京成千葉中央駅に隣接
〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1 TEL.043-222-2111

プログラム

開会式/13:30~13:35 主催者挨拶

講 演/13:35~14:30 演題「**後方支援活動の重要性について**」
講師:遠野市長 本田 敏秋 氏

対 談/14:30~15:25



遠野市長
本田 敏秋 氏



千葉市長
熊谷 俊人 氏

閉会式/15:25~15:30 閉会の辞

遠野市長 本田 敏秋 氏
全国市長会経済委員会副委員長

岩手県遠野市長。昭和22年遠野市生まれ。岩手県職員を経て、平成14年に遠野市長に初当選。平成17年の合併により(新)遠野市の初代市長に就任。通算で3期目。日本のふるさと再生特区(通称「どぶろく特区」)をはじめ、「遠野遺産認定条例」など、地域の歴史・文化に自信と誇りが持てる地域づくりに取り組む。宮城県沖地震と津波の発生を見据え、2007年から沿岸市町村と連携して「地震・津波災害における後方支援拠点施設整備構想」を推進。東日本大震災では、被災地への後方支援活動に尽力。

千葉市長 熊谷 俊人 氏
淑徳大学特別招聘教授

昭和53年生まれ。神戸市出身。高校在学時に阪神大震災被災。平成13年4月 NTTコミュニケーションズ株式会社入社。平成19年5月千葉市議会議員。平成21年6月千葉市長就任。「脱・財政危機宣言」を発出し、財政再建を強力に進めるとともに、絆の再生、地域活動の推進、災害に強いまちづくりなど、安心で安全な社会の実現を図り、将来にわたり魅力のあるまちづくりに向け、長期的視野に立った市政運営に取り組む。

3月11日の東日本大震災は、とても広い範囲に甚大な被害を及ぼしました。

この中、被災地を支えてきたものはコミュニティの絆であったと言っても過言ではありません。

同じ街に住む、同じ故郷を持つ人々が、時も場所も超えて助け合い、支え合いを続けてきました。

遠野市は岩手県内の被災地支援活動の拠点となり、活動を続けてきました。

千葉市もさまざまな形で被災地支援活動を続け、

熊谷・千葉市長も5月に遠野市を訪問し、後方支援の視察をされてきました。

本フォーラムでは、東日本大震災の被災地支援活動を振り返るとともに

2つの地域・コミュニティとの間の絆を再確認し、

今後の災害におけるコミュニティ間の連携の可能性を考えます。

**参加費
無料**

<お申込>

下記の淑徳大学サービスラーニングセンターまで、
1月27日までに申込みください。また、淑徳大学
HPから申込が出来ます。

<http://www.shukutoku.ac.jp/>

<主 催>

淑徳大学コミュニティ政策学部

<後 援>

千葉市・遠野市

<事務局>

淑徳大学サービスラーニングセンター

〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200

TEL.043-265-7911 FAX.043-265-9910

E-Mail slc@soc.shukutoku.ac.jp